



「大企業で働く若手・中堅社員のキャリア形成に関する意識調査」 結果概要

～将来のキャリア形成のため「副業・兼業を経験したい者」約 7 割
「グループ外企業との人事交流として他社で働いてみたい者」約 6 割～

公益財団法人産業雇用安定センター（本部：東京都江東区 理事長：岡崎淳一）は、2024 年 7 月、「大企業で働く若手・中堅社員（26～35 歳の総合職）のキャリア形成に関する意識調査」を WEB 調査により実施しました。

センターでは、失業なき労働移動の実現に向けた出向、移籍の斡旋に取り組むほか、雇用調整ではなく人材育成や企業間交流を目的とした出向の支援、副業・兼業に関する情報提供モデル事業などを実施しています。

今回の調査結果を踏まえ、企業における副業・兼業の取組や人材育成型・企業間交流型出向の取組等に対する一層効果的なサポートに活用してまいります。

【調査結果のポイント】

- ◆ **転職等に対する考え方**については、「今の会社に定年までいたい」が 51.4%、「他社に転職したい」が 42.4%、「起業／独立したい」が 3.6%であった（図 1）。
- ◆ **希望する働き方に一番近いのは**、「昇進等にこだわらずに働きたい」（49.4%）が最も多く、次いで「専門職・スペシャリストとして活躍したい」（28.3%）、「役員・管理職まで昇進したい」（22.1%）の順となった（図 2）。
- ◆ **自らのキャリアアップのため企業にあってほしい人材育成メニュー**については、「資格取得のための支援」が「大いにそう思う」と「まあ思う」を合わせて 72.4%、「副業・兼業の推奨」が同 63.9%、「グループ外の企業との人事交流」が同 55.4%とそれぞれ過半数に達した。「国内の大学院等への就学支援」（46.4%）と「海外の大学院等への留学制度」（42.5%）はいずれも半数に満たなかった（図 3）。
- ◆ **将来のキャリアのために、「副業・兼業」を希望するか**については、「積極的に経験したい」（36.9%）と「希望する企業・部署等であれば経験したい」（32.9%）を合わせた希望者が約 7 割。「経験したくない」は 3.4%となった（図 4）
- ◆ **将来のキャリアのために、グループ外の企業との人事交流として他社で働いてみたいか**については、「積極的に希望したい」（21.3%）と「希望する企業・部署等であれば希望したい」（37.3%）が合わせて約 6 割となった。「希望しない」はわずか 2.8%にとどまった（図 5）。

■今回調査概要

時期：2024 年 7 月

方式：民間調査会社への委託による WEB アンケート方式

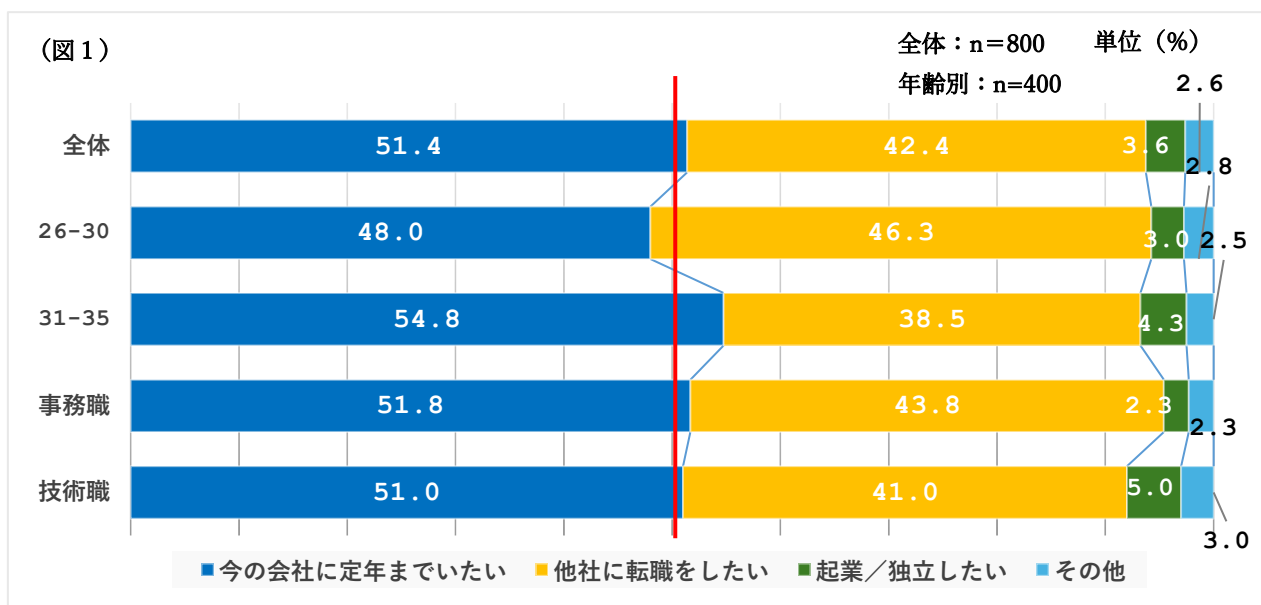
対象：大企業（従業員 300 人以上）に勤務する 26～35 歳の総合職採用社員

回答：800 人

1. 転職等に対する考え方（図1）

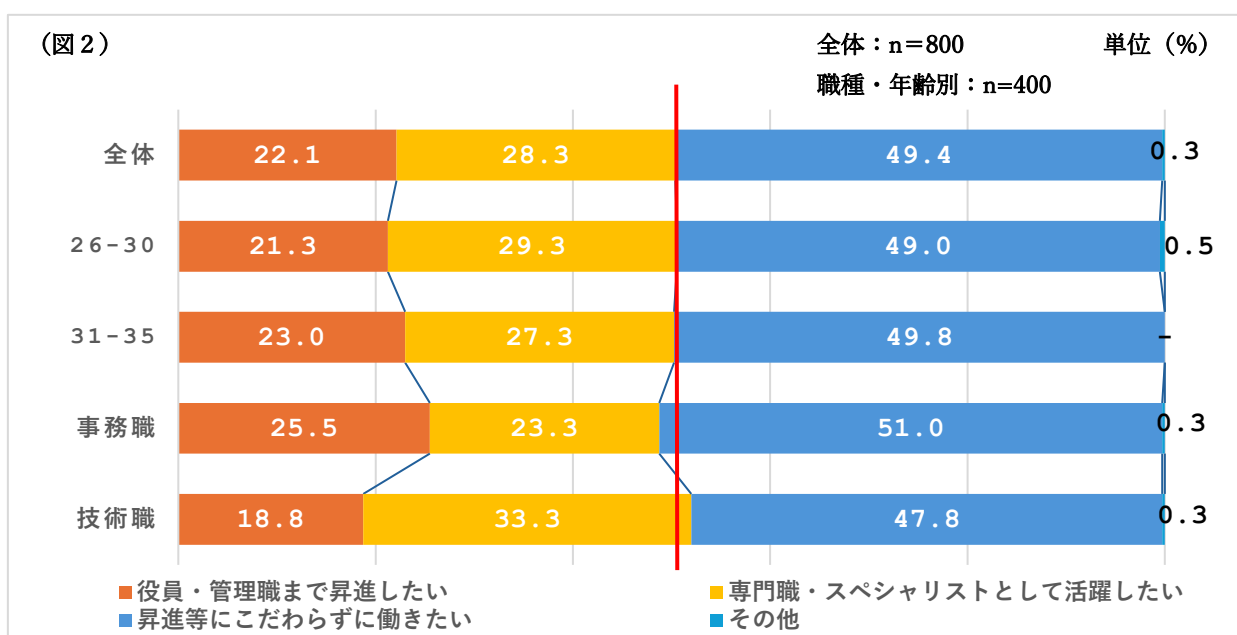
「今の会社に定年までいたい」が51.4%、「他社に転職したい」が42.4%、「起業／独立したい」が3.6%であった。

年齢別にみると、26-30 歳層では「今の会社に定年までいたい」（48%）と「他社に転職したい」（46.3%）がほぼ同率。31-35 歳層では「今の会社に定年までいたい」（54.8%）が「他社に転職したい」（38.5%）を約 16 ポイント上回った。



2. 希望する働き方（図2）

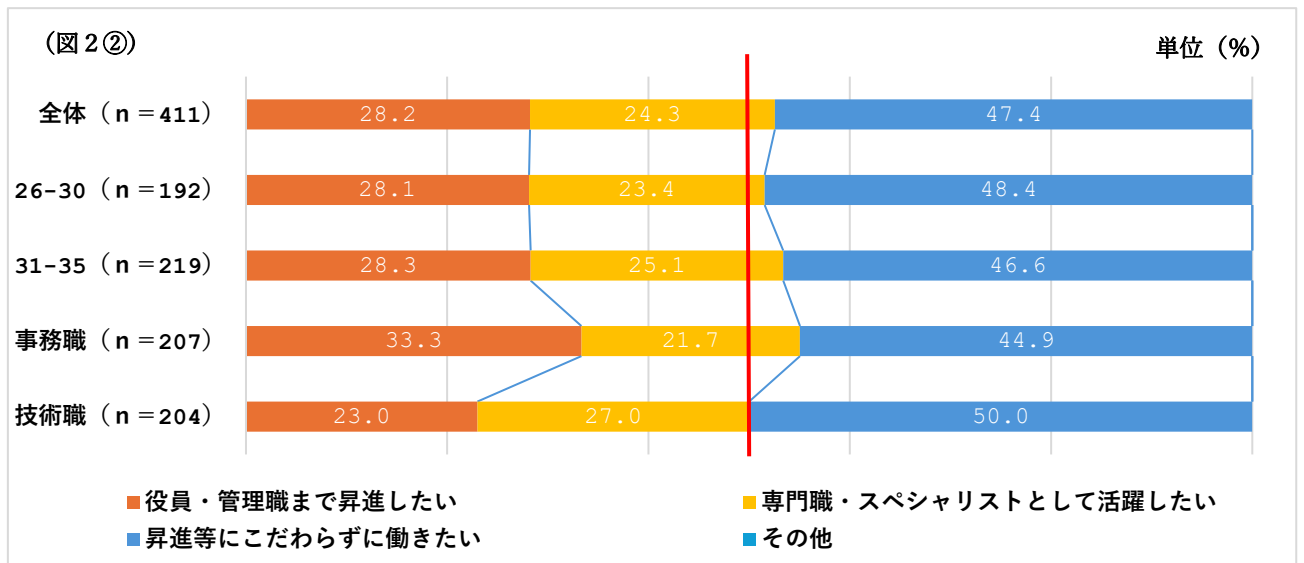
「昇進等にこだわらずに働きたい」（49.4%）が最も多く、次いで「専門職・スペシャリストとして活躍したい」（28.3%）、「役員・管理職まで昇進したい」（22.1%）の順となった。



職種別にみると、事務職では「役員・管理職まで昇進したい」（25.5%）が「専門職・スペシャリストとして活躍したい」（23.3%）を上回ったのに対し、技術職では「専門職・スペシャリストとして活躍したい」（33.3%）が「役員・管理職まで昇進したい」（18.8%）を 15 ポイント近く上回り、職種で傾向が異なった。

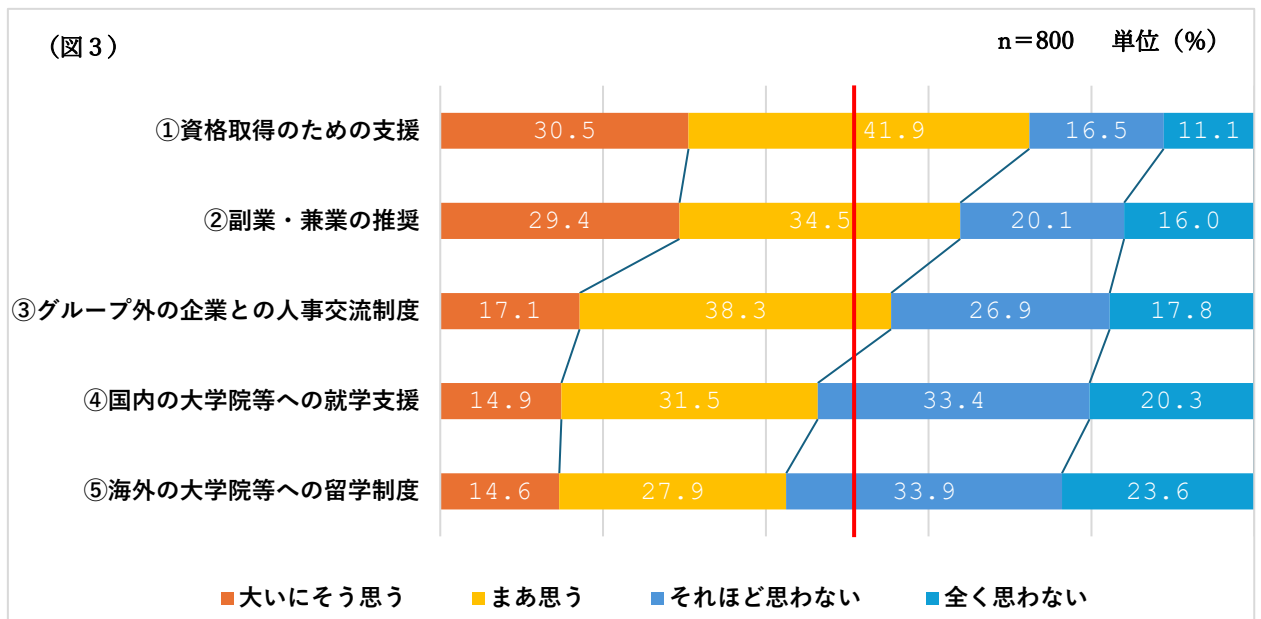
2 - ②. 「今の会社に定年までいたい者」が希望する働き方（図2②）

上記1. で「今の会社に定年までいたい」と回答した者に限定して「希望する働き方」をみると、「役員・管理職まで昇進したい」が28.2%と、全対象者の回答より6ポイント高く、事務職では33.3%と3人に1人が希望する結果となった。



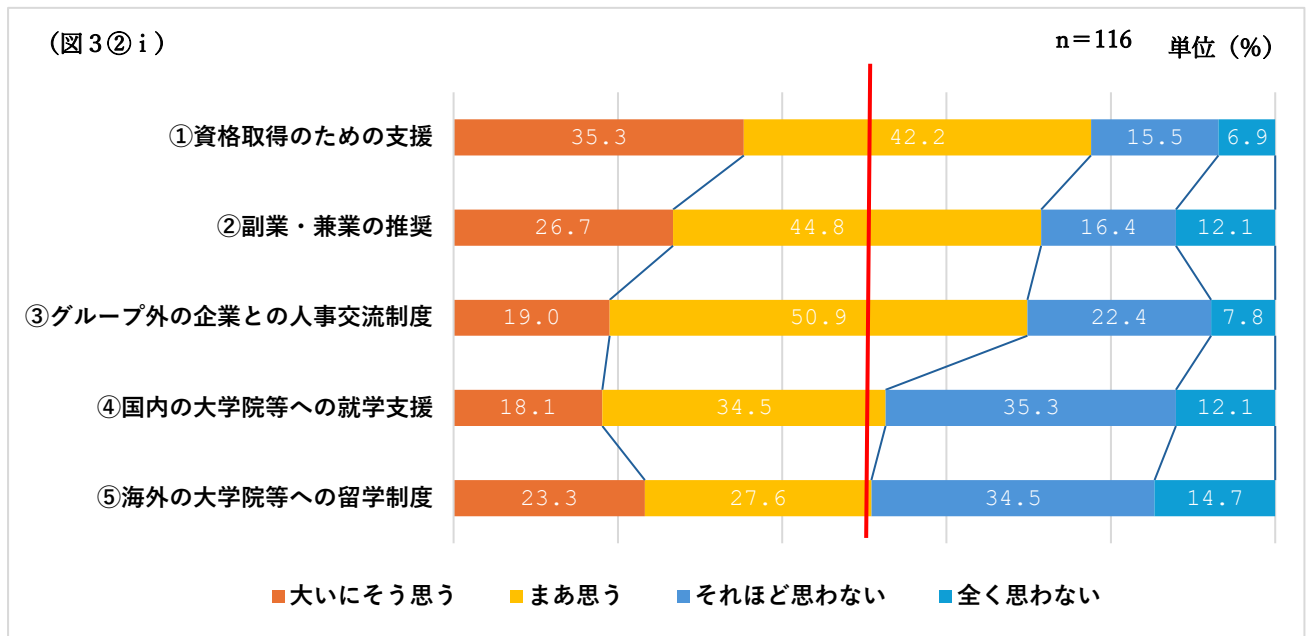
3. 自らのキャリアアップのため企業にあってほしい人材育成メニュー（図3）

「①資格取得のための支援」は、「大いにそう思う」と「まあ思う」を合わせて72.4%となった。「②副業・兼業の推奨」（同63.9%）、「③グループ外の企業との人事交流制度」（同55.4%）もそれぞれ5割を超えた。「④国内の大学院等への就学支援」（同46.4%）と「⑤海外の大学院等への留学制度」（同42.5%）はいずれも5割に満たなかった。

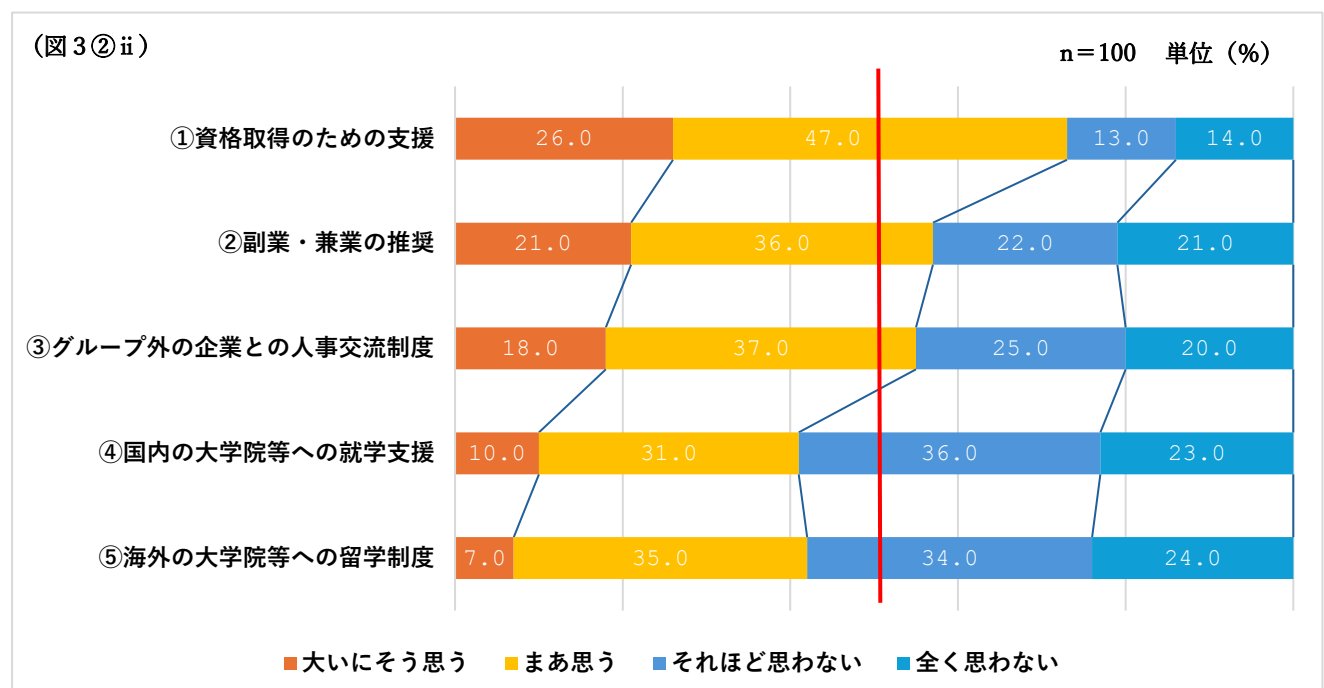


3 - ②. 「今の会社に定年までいたい者」が希望する人材育成メニュー（図3②i ii iii）

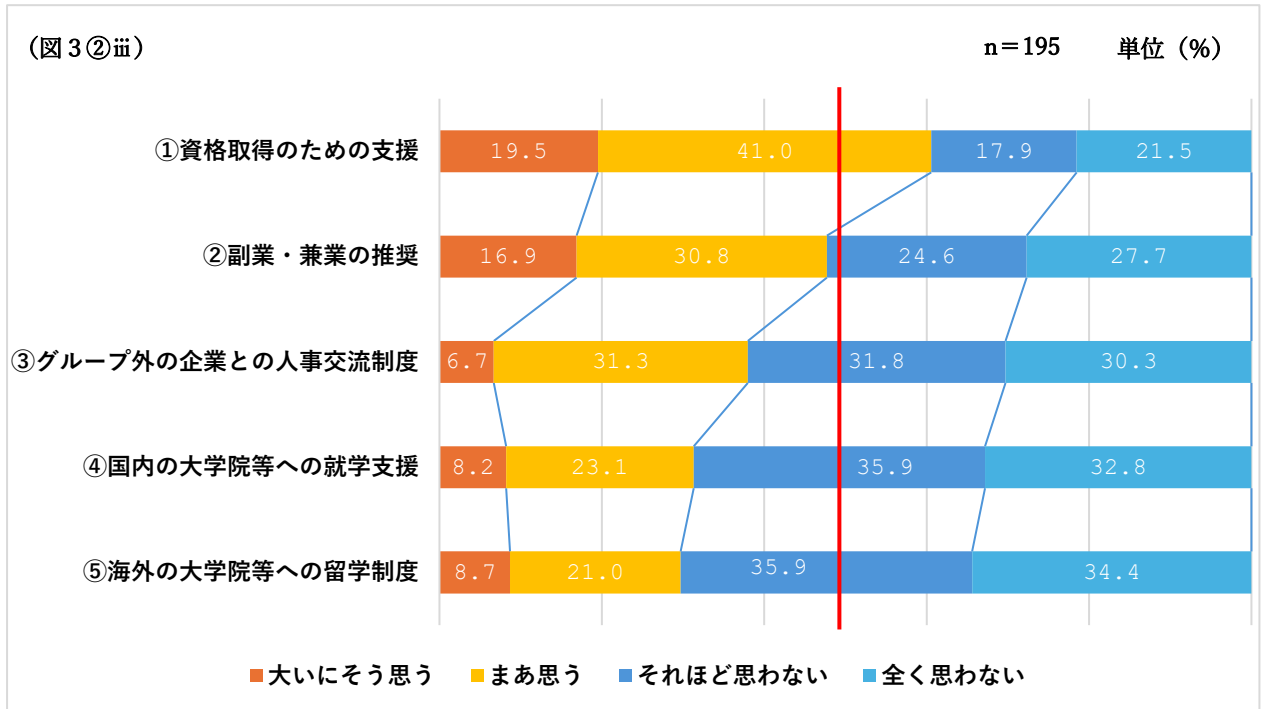
- i 「今の会社に定年までいたい者」のうち「役員・管理職まで昇進したい」と答えた者が会社にあってほしいと考える人材育成メニューは、「①資格取得のための支援」が「大いにそう思う」と「まあ思う」を合わせて 77.5%となり、「②副業・兼業の推奨」（同 71.0%）、「③グループ外の企業との人事交流制度」（同 69.9%）も、ともに約 7 割を占めた。



- ii 「今の会社に定年までいたい者」のうち「専門職・スペシャリストとして活躍したい」と答えた者が会社にあってほしいと考える人材育成メニューは、「①資格取得のための支援」が、「大いにそう思う」と「まあ思う」を合わせて 73.0%と 7 割を超えたほか、「②副業・兼業の推奨」(同 57.0%)、「③グループ外の企業との人事交流制度」(同 55.0%) が 5 割を上回った。

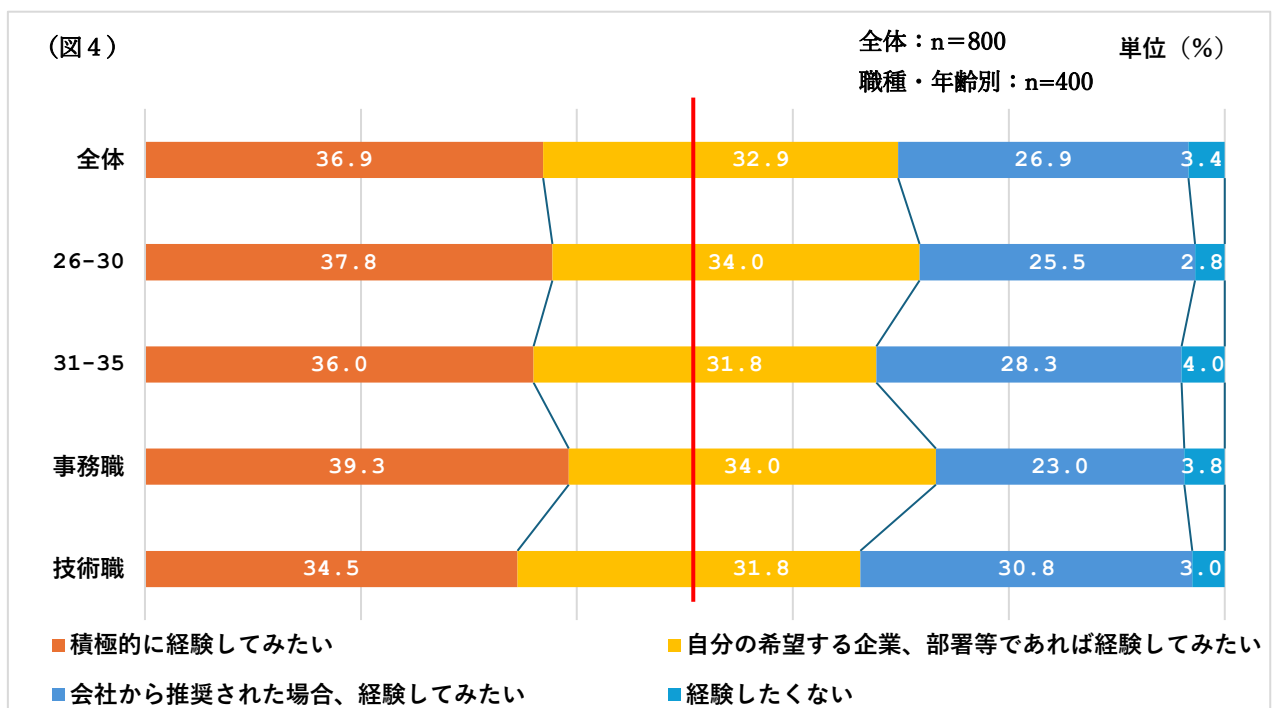


iii 「今の会社に定年までいたい者」のうち「昇進等にこだわらず働きたい」と答えた者が会社にあってほしいと考える人材育成メニューは、「①資格取得のための支援」が「大いにそう思う」と「まあ思う」を合わせて60.5%となった。その他は、「②副業・兼業の推奨」（同47.7%）、「③グループ外の企業との人事交流制度」（同38%）など、いずれも5割に満たなかった。



4. 将来のキャリアのために、「副業・兼業」を経験したいか (図4)

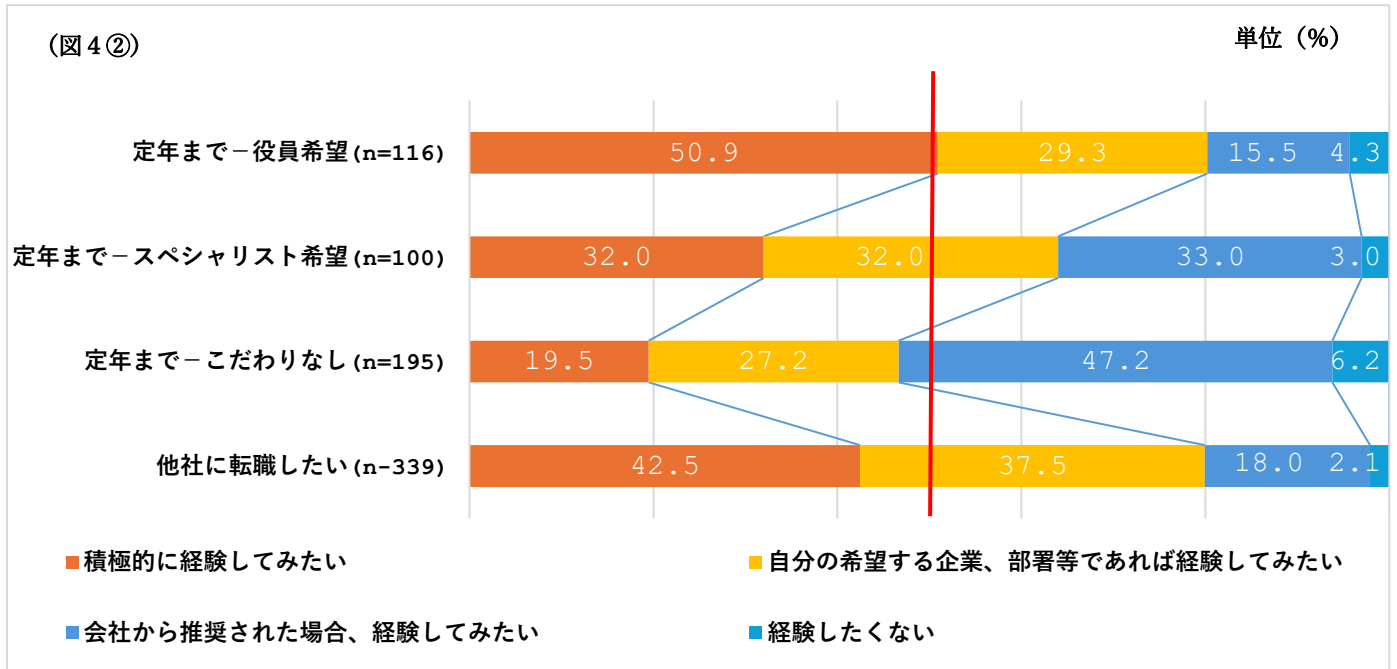
「積極的に経験したい」(36.9%)と「希望する企業・部署等であれば経験したい」(32.9%)を合わせた希望者は約7割となり、「経験したくない」は3.4%にとどまった。
職種別では、事務職の希望者(73.3%)、技術職の希望者(66.3%)であった。



4 - ②. 「希望する働き方」別にみた、「副業・兼業」の経験希望 (図4②)

「今の会社に定年までいたい」者のうち「役員・管理職まで昇進したい」者は、「積極的に経験したい」と答えた者が約5割、「自分の希望する企業、部署等であれば経験したい」と合わせると8割を超え、副業・兼業に積極的な姿勢が見られた。

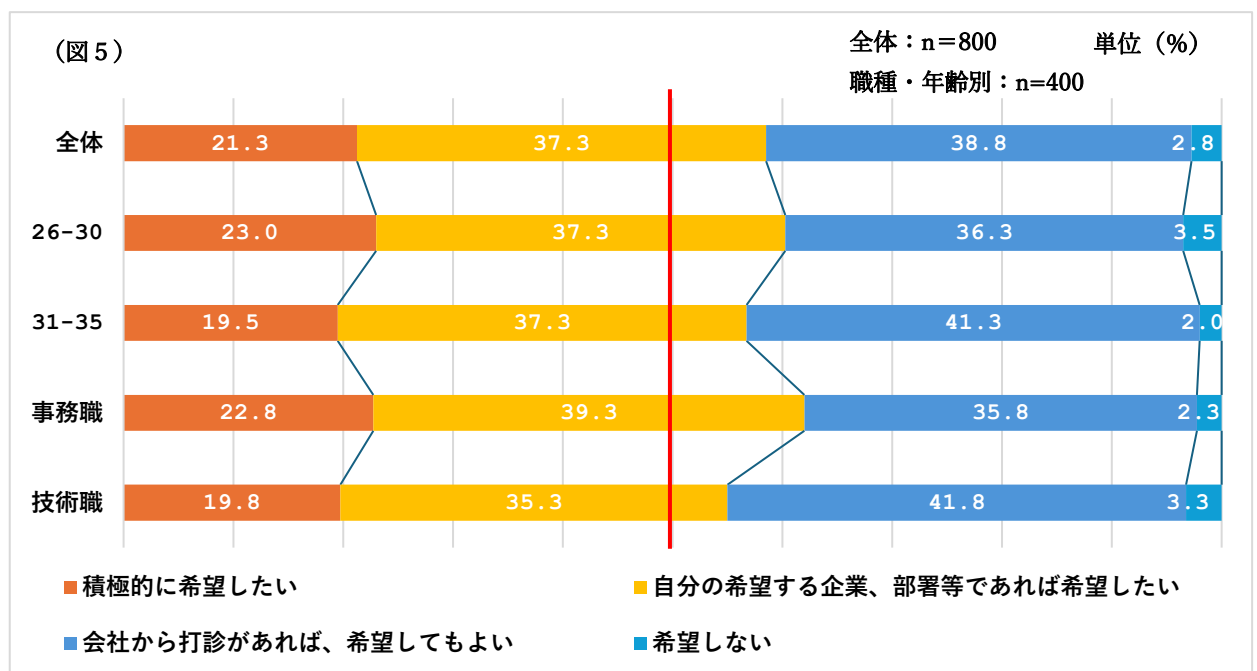
一方、「昇進等にこだわらずに働きたい」者では、「会社から推奨された場合、経験してみたい」が5割を占める一方、「積極的に経験してみたい」は2割弱にとどまり、やや消極的な結果となった。



5. 将来のキャリアのために、グループ外の企業との人事交流により他社で働いてみたいか (図5)

「積極的に希望したい」(21.3%)と「希望する企業・部署等であれば希望したい」(37.3%)が合わせて約6割。「希望しない」は2.8%にとどまった。

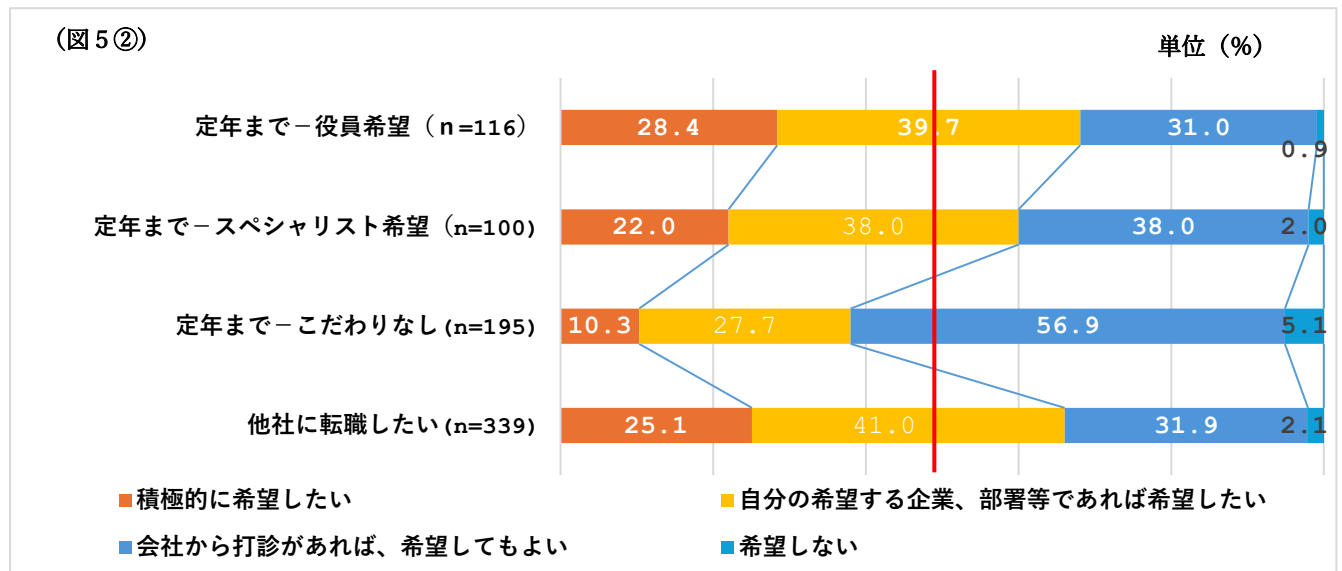
職種別では、事務職が「積極的に希望したい」と「希望する企業・部署等であれば希望したい」を合わせて62.1%、技術職(55.1%)を7ポイント上回った。



5 - ②. 「希望する働き方」別にみた、「グループ外企業との人事交流による就労」希望
(図5②)

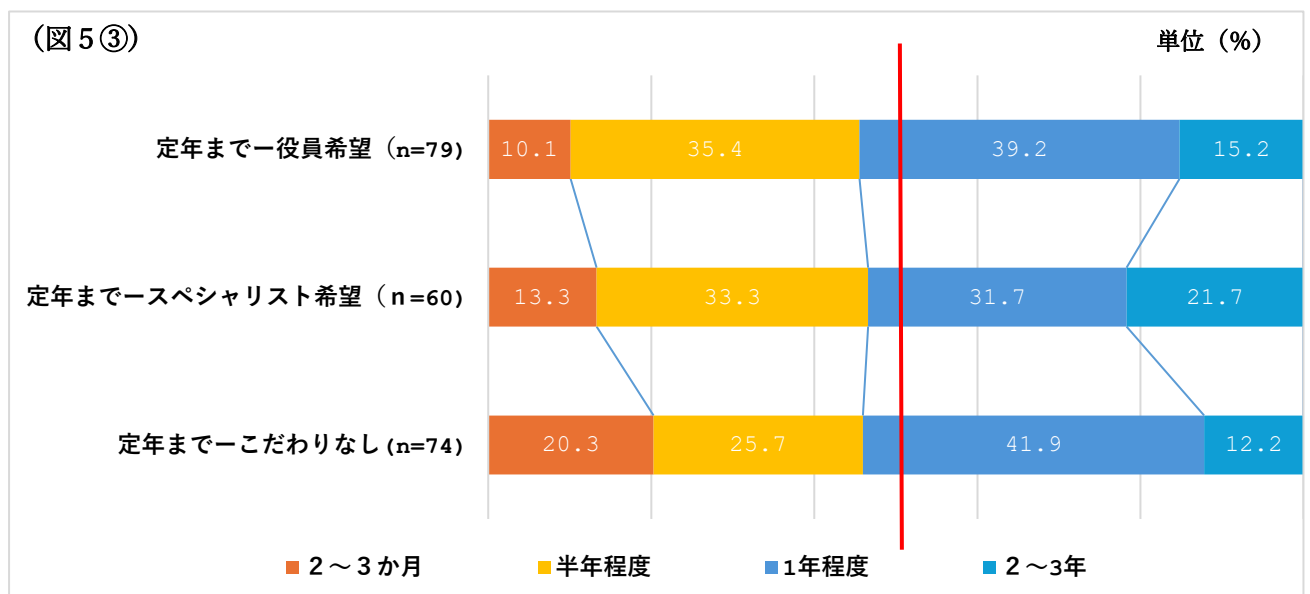
「今の会社に定年までいたい」者のうち「役員・管理職まで昇進したい」者は、「自分の希望する企業、部署等であれば希望したい」が約4割、「積極的に希望したい」と合わせて約7割となり、「副業・兼業」と同様、積極的な姿勢が伺えた。

「昇進等にこだわらずに働きたい」者では、「会社から打診があれば、希望してもよい」(56.9%)が過半数に達し、「積極的に希望してみたい」は10%にとどまった。



5 - ③. 定年までいたい者が希望する出向期間 (図5③)

「今の会社に定年までいたい」者のうち「人事交流による他社での就労を望む者」が希望する期間をみると、いずれの区分においても「半年程度」と「1年程度」が合わせて65%から75%を占めた。



○ 転載・引用にあたってのお願い

1. 転載・引用は、原則として自由です。ただし、必ず出所を明示してください。
2. 転載・引用した著作物を発行する場合には、著作物の概要と引用等部分のPDF等を info2@sangyokoyo.or.jp まで送付いただきますようお願いします。
3. 営利目的でご利用される場合には、事前に info2@sangyokoyo.or.jp までご連絡いただきますようお願いします。